

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月31日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

1 事業名	地域福祉推進事業	コード	61101
-------	----------	-----	-------

2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	社会福祉課	作成者	勝野哲矢
--------	----	-------	----	-------	-----	------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政 策	福祉の充実	施 策	地域福祉の推進
		予算科目	地域福祉推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	地域住民が、生涯にわたり住み慣れた地域で健やかに暮らし続けるため、地域でお互いに支え合う仕組みを整え、自立を支え合う地域づくりを行う。		
目的	対象者	地域住民（市民）	
	意 図	地域福祉の充実	

5 事業の実施内容		*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
<p>○地域サポートセンター設置促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての地区にサポートセンターの設置が完了（上浜区、小口区） ・運営、事業推進等に係る経費に対する補助金交付（行政事務交付金） ・拠点施設のバリアフリー化に対する補助金交付：・岡谷区（会議室段差解消） ・区長等を対象に地域サポートセンターの今後の展開と外部講師による地域共生社会の実現に向けてなど、地域福祉にかかる研修会を開催した。 <p>○岡谷市社会福祉協議会との連携による地域福祉の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協の基幹職員分等の補助 <p>○市内福祉団体への支援</p> <p>○「出会いの場創出支援事業」</p> <p>少子化対策の一環として、男女の出会いの場である婚活イベント等への参加者の増加を図るため、市が共催または後援する市社会福祉協議会及び（一財）諏訪湖勤労者サービスセンターが実施する婚活イベントなどの周知PRに対して支援を行った。</p>			
前年度の課題への対応	市内全地区への地域サポートセンターの設置に向け、設置区の活動状況を聴き取りし、具体的な事例として未設置区に提示するなど支援を行った結果、全ての地区に設置が完了した。		

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	地域サポートセンター説明会等参加者			単位	回
実績値	0	0	0		
*指標の説明					
② 成果指標（指標名）	地域サポートセンター設置数			単位	区
目標値	2	2	2	0	
実績値	0	0	2		
達成度	0.0%	0.0%	100.0%		
*指標の説明	未設置区への設置				
*目標値の設定方法の説明	岡谷市内の行政区数（未設置区数）				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	798,800	538,200	500,000	0
経常経費	798,800	538,200	500,000	0
臨時的経費	0	0	0	
* 臨時的経費の説明				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000
正規職員の人数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60
③ 合計コスト(①+②)	5,598,800	5,338,200	5,300,000	4,800,000
前年度比		95.3%	99.3%	90.6%
財源	5,598,800	5,338,200	5,300,000	4,800,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明	5,338,200			
④ 活動一単位あたりコスト	-	-	-	-
前年度比				
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
行政事務交付金 (地域サポートセンター)	件数	19	19	21	21
	金額	1,395,000	1,310,000	1,405,000	1,380,000
出会いの場創出事業 負担金	件数	2	2	2	-
	金額	1,008,199	834,430	500,000	-
地域サポートセンターバリアフ リ事業補助金	件数	2	2	1	0
	金額	798,800	538,200	500,000	0
地域サポートセンター設置促 進事業負担金	件数	1	-	-	-
	金額	31,719	-	-	-
岡谷市社会福祉協議 会補助金	件数	1	1	1	1
	金額	20,376,598	21,779,364	21,800,000	21,800,000
岡谷地区保護司会補 助金	件数	1	1	1	1
	金額	64,000	64,000	45,000	45,000
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	23,642,597	24,525,994	24,250,000	23,225,000
	割合	2,959.76%	4,557.04%	4,850.00%	#DIV/0!

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。 成果指標の実績値 前年度比	-	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。 成果指標の目標値 達成度	100.0%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 平成29年度ですべての地区に地域サポートセンターの設置が完了したため、今後、地域共生のため、運営の充実や地域課題の集約、地域住民の意識の啓発、地域でのリーダーの養成等が必要である。	
	改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 地域福祉ネットワーク会議を立ち上げ、社会福祉協議会、地区社会福祉協議会、区(長)、地域サポートセンター長などと連携を図り、地域課題を共有しながら、地域で出来ること、行政で出来ること、それぞれ限界のある中で、課題解決に向けて取り組んでいく。
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---